

質問書

佐用町の水害についての質問

武庫川流域委員会 松本 誠委員長殿

平成 21 年 8 月 18 日 奥西一夫

他社の記者に見せて貰った神戸新聞の記事に基づく質問で恐縮ですが、8月25日の運営委員会では県の方から今夏の兵庫県における水害について説明があり、他の委員からも資料提供と質問が予想されますので、河川管理者サイドと千種川委員会の委員長でもあった松本委員長から、必要と思われる範囲で下記の質問にお答え頂ければありがたく存じます。

私の質問は佐用町久崎地区の水害に限りますが、神戸新聞の記事によると、この地区の佐用川は氾濫を繰り返しており、河川改修が必要であることで千種川委員会では一致を見たが、県側は財政難を理由に河川改修を実施してこなかった、とあります。

質問1：1975年頃のカラー空中写真によると、佐用川・千種川合流点付近の両河川には砂州の発達が見られますが、県ではこの区域の河川地形と水害危険度に関してどのような認識を持って来られましたか？

質問2：河川改修に関する千種川委員会での議論の概要をお教え下さい。

質問3：「財政難」が県側から言われたのであれば、その内容をお教え下さい。

質問4：上記から離れ、かつ減災対策検討会の議題に属するかと思いますが、各新聞で「避難命令が出た時、避難所に向かうのが良いかどうか、安全面から疑問である」と言う識者の意見が紹介されていますが、いずれも全く具体性を欠き、全体として極めて無責任な見解表明に終わっています。この問題について、兵庫県当局の見解を聞きたいと思います。具体的にはハザードマップに避難所を示すだけでは不十分であるとすれば、何をすべきかということです。



台風災害 兵庫・佐用町

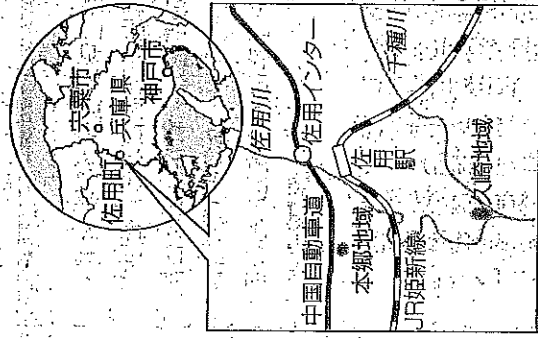


倒れた木が散乱する山間一民庫員佐用町



住民の事情や要望を聞く山田兼三・旧南光町長(左)

河川改修不十分“人災”の声も



台風9号で死者20人などの大きな被害が出た兵庫。佐用町(2005年に佐用町・十戸町・南光町・三日月町が合併)では18人が死亡し、行方不明者も2人います(10日前)。床上・床下浸水は1350棟におびました。被災地は、

前田善孝記者

佐用町には、こんな看板が各所にあります。「ボランティアの方々、ほんとは感謝、ありがとうございます」山本文三さん(60)は着ている服をつまんで「これ、ボランティアの人がかってきこくれた。神戸から高校生が来たのだ。一日も早く俺を取り戻さるって方がなきました。佐用町はもう、毎日千人を超えるボランティア

が一日も早い復興をめざして活動しています。街は今も泥、がれきであふれ、横倒しの家もあります。あんなに雨が超ったのではありませんか。佐用川の水位が、避難勧告を出す基準の3割を超えたのが9日後7時58分でした。堤防が決壊した久崎地区(餅田めいきん(元)は8時45分に友人からのメールで異変に気がきました。その時、川面は橋の高さを超える勢い。9時には、水は橋を乗り越えしきまをあげ、道路にもあふれ出した。家財道具を船に上げ始めたとき、水が案内に入し、一気に胸の高さに。子どもたちは道に逃げました。翌朝、流れてきた家が自宅の横に

ありました。町営住宅の住人が避難中に流されたらみられる本郷地区。森下明さん(78)は「大河ドラマの時間書やった。量が増いれてきてなる。役務や消防に電話しても全然つながらん。ばあさん2人、2階に逃げたわ。8時20分ごろ、本郷の公民館に話していた岡本勝廣本郷自治会会長(66)の後援たちは「チャイ」という言葉を飛び出しました。町営住宅の高齢の女性が甲水路に足をこられ、男性の人がやっこの思いで引き揚がっているところでした。自治会役員も加勢して公民館に救助しました。佐用町は5年前の04年、台風9号のときも水害にあっさり、「人災」を指摘する住民が少なくありません。地元の自治会は06年、千種川や佐用川の護岸改修、堤防かさ上げ、川底の堆積(たいせき)土砂の搬運などを求めています。日本共産党佐用町議団も、抜本改修を要求。県の第三委員会では、佐用川の水位が3割を超えてから1時間以上

下りるなど、災害に弱い水を一つひとつきいていくことが基本です。ところが日本の河川行政は、はた大きな予算を多量に投じる一方、国も都道府県も「お金がないから河川整備が進まない」といいます。林業の復興とともに、河川行政の転換が急がれます。

林業の復興と河川整備こそ

国土調査研究会の奥西一夫理事長(京都大学名誉教授)の話。林業が成り立たず山が荒れば、山の土が川に流出し、大量の泥となって被害をもたらします。防災は、堤防をつくり、川底を掘り

べく川底を掘削するなどの整備が必要だ。でも財政上、計画は30年越しです。住民たちが求めている河川の抜本改修はできていません。佐用川は流量を確保す

避難勧告の遅れも指摘されています。町役場の防災無線で全戸に避難勧告を出したのは、佐用川の水位が3割を

救援の問い合わせ先
日本共産党西播磨地区委員会
会 079(288)4110
〒670-0012 姫路市本町201

共産党も復興に全力

日本共産党も復興に全力をあげています。県内外からボランティアがかけつけています。瀬戸大学病院出陣候補らが住民の現地調査をして、山ノ下生参院議員は国選を国の支援を求めました。山田兼三・旧南光町長も救援活動に奔走しています。



泥がれきを搬送するボランティアの人たち

遅れた午後9時20分でした。住長によれば、本郷地区でも久崎地区でも浸水が始まっていました。佐用地区にある中央病院も午後8時半ごろには1階が浸水しました。岡本自治会会長が語ります。そのころころからは潮流で逃げられる状況やなかった。だから自己待機を呼びかけた。同じ町でも一律に避難勧告をだすことに問題があることがよく分かった。これまで、各地区にある防災無線は、自治会から直に家庭の受信機に伝えることができませんでした。町役場併後は、自治会からいったん町役場支所にアマロンスを録音して登録した順番に放送します。岡本会長は「これで4、5分の遅れが出る」といいます。兵庫眞安(しんあ)市では、橋の欄干に樹木が突き刺さる、道路には大小の木が何本も横たわっていました。「5年前の台風の時、の倒木や簡伐材を放置するからや」。林業家の清水兵衛さん(68)がいます。洗水が被害を深刻にしたのです。